

2018年9月9日(日) 第3会場(国立京都国際会館 1F Room E)

13:00 ~ 16:00 シンポジウム9 PS9

様々な依存症を通して考える、これからの依存症治療

座長：真栄里仁(久里浜医療センター)

田辺 等(北星学園大学社会福祉学部)

PS9-1 ギャンブル障害の治療—精神保健福祉センターにおける取り組み—

小原圭司、佐藤寛志

島根県立心と体の相談センター

PS9-2 ネット依存症

中山秀紀

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

PS9-3 窃盗症(クレプトマニア)の治療現場から
— 常習窃盗患者1800例の治療経験 —

竹村道夫

医療法人 群馬会 赤城高原ホスピタル

PS9-4 自傷 —その理解と外来・病棟における対応について—

小林桜児

神奈川県立精神医療センター 依存症診療科

PS9-5 摂食障害と依存症

安藤哲也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

2018年9月10日(月) 第8会場(国立京都国際会館 5F Room 510)

9:00 ~ 9:30 一般演題(口演) 2 02

ギャンブル依存

座長：白坂知彦(手稲溪仁会病院 精神保健科)

02-1 当院のギャンブル障害治療の現状と課題

入来晃久

大阪精神医療センター

02-2 病的ギャンブラーとギャンブル愛好家とを峻別するものは何か

田中紀子¹⁾、松本俊彦²⁾、森田展彰³⁾、木村智和⁴⁾

1) 公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

2) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

3) 筑波大学医学医療系

4) 株式会社NTTデータ ITサービス・ペイメント事業本部 ライフデジタル事業部

02-3 精神科診療所で行うギャンブルプログラムの有用性

—参加群と非参加群を比較して—

金織来多、上村敬一

うえむらメンタルサポート診療所

9:40 ~ 10:40 一般演題(口演) 3 03

薬物依存

座長：成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)

03-1 埼玉県立精神医療センターを受診した物質使用障害患者の主たる薬物の推移
—危険ドラッグの流行と収束—

合川勇三、山崎聞平、和田 清、成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター 精神科

03-2 依存症専門外来で性的マイノリティであることを自らカミングアウトした
物質使用障害患者の臨床的特徴

西村康平、板橋登子、福生泰久、吉松尚彦、黒澤文貴、小林桜児

神奈川県立精神医療センター

03-3 埼玉県立精神医療センターにおける危険ドラッグ入院患者の特徴と傾向

山崎聞平¹⁾、合川勇三¹⁾、平山知恵²⁾、成瀬暢也¹⁾、和田 清¹⁾

1) 埼玉県立精神医療センター 精神科

2) 茨城県立こころの医療センター 精神科

03-4 外来 SMARPP (「ぼちぼち」) における作業療法の取り組み加瀬 忍¹⁾、入来晃久²⁾

- 1) 大阪精神医療センター 作業療法室
- 2) 大阪精神医療センター 医務局

03-5 回復支援施設における TC エンカウンター・グループの適用に関する研究引土絵未^{1,2)}、岡崎重人³⁾、加藤 隆⁴⁾、山本 大⁵⁾、山崎明義⁶⁾、松本俊彦¹⁾、嶋根卓也¹⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 2) 日本学術振興会
- 3) NPO 法人川崎ダルク支援会
- 4) NPO 法人八王子ダルク
- 5) NPO 法人アパリ藤岡ダルク
- 6) 特定非営利活動法人東京ダルク

03-6 アディクション治療プログラムが若手医師の薬物依存治療に関する意識に与える影響常岡俊昭¹⁾、堀内健太郎^{1,2)}、江島智子²⁾、横山佐知子^{1,2)}、藤澤尚子²⁾、根本ありす²⁾、小野英里子^{1,2)}、稲本淳子^{1,2)}、岩波 明^{1,2)}

- 1) 昭和大学 医学部 精神医学講座
- 2) 昭和大学附属烏山病院

13:10 ~ 14:10 一般演題 (口演) 6 06**依存症の治療プログラム**

座長：森田展彰 (筑波大学医学医療系社会精神保健学分野)

**06-1 依存症患者の初診受診率およびキャンセル率の調査
～初診予約のあり方を一考する～**堀内恵美子¹⁾、堀 幸子¹⁾、小島亮子¹⁾、大曾根しのぶ²⁾、楠山さなみ²⁾、藤城弘康²⁾、井上恭子²⁾、板橋登子³⁾、小林桜児⁴⁾

- 1) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター
看護局 外来看護科
- 2) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科
- 3) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 臨床研究室
- 4) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 医療局

06-2 依存症初診患者の基本情報及び心理尺度得点と6か月後予後板橋登子¹⁾、小林桜児²⁾、黒澤文貴²⁾、福生泰久²⁾、吉裕尚彦²⁾、西村康平²⁾、堀内恵美子³⁾、堀 幸子³⁾、小島亮子³⁾

- 1) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室
- 2) 神奈川県立精神医療センター 依存症診療部
- 3) 神奈川県立精神医療センター 看護局外来看護科

06-3 依存症入院患者の過剰適応傾向のタイプ分類と退院後の経過について

板橋登子¹⁾、小林桜児²⁾、黒澤文貴²⁾、福生泰久²⁾、吉松尚彦²⁾、西村康平²⁾、山口二三子³⁾、松島正明³⁾

- 1) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室
- 2) 神奈川県立精神医療センター 依存症診療部
- 3) 神奈川県立精神医療センター 2 B病棟看護科

06-4 依存症入院病棟における音楽療法の意義

上滝 司¹⁾、小林桜児²⁾、小宮 勤³⁾

- 1) ウィスタリア音楽院
- 2) 神奈川県立精神医療センター
- 3) 渋谷ダルク

06-5 千葉県精神保健福祉センターにおける薬物依存回復プログラム参加者の特徴について

大宮宗一郎¹⁾、谷渕由布子²⁾、石田恵美³⁾、柳 友里³⁾、吉水宏太郎³⁾、田畑聡史⁴⁾、白川雄一郎⁴⁾、堀口忠利⁵⁾

- 1) 筑波大学 医学医療系 社会精神保健学
- 2) 医療法人同和会 千葉病院
- 3) 千葉県精神保健福祉センター
- 4) 一般社団法人 千葉ダルク
- 5) B.A.S.E

06-6 依存症専門病院における家族教室①

～薬物家族教室～

井上恭子、大曾根しのぶ、楠山さなみ、藤城弘康、西岡恭子

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科

14:20 ~ 15:10 一般演題(口演) 8 08

アルコール依存症の治療

座長：中山秀紀(国立病院機構久里浜医療センター)

08-1 外来 SARPP 参加者の断酒と自助グループ参加について

藤城弘康¹⁾、大曾根しのぶ¹⁾、楠山さなみ¹⁾、井上恭子¹⁾、西岡恭子¹⁾、板橋登子²⁾

- 1) 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科
- 2) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室

08-2 従来の入院プログラムに関する文献研究と、東京医療センター・アルコール入院治療プログラム(TAPPY)

杉原正子^{1,2)}、石原亮太¹⁾、佐藤寧子³⁾、水野有紀⁴⁾、千葉ちよ⁵⁾、吉野景子⁶⁾、山田愛梨⁷⁾、
小黒草太⁸⁾、菊池真大⁹⁾

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 精神科
- 2) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- 3) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 看護部
- 4) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室
- 5) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 心理室
- 6) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 薬剤部
- 7) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 栄養部
- 8) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 放射線科
- 9) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 消化器内科

08-3 東京医療センターにおけるアルコール短期入院治療プログラム(TAPPY)について

石原亮太¹⁾、杉原正子¹⁾、水野有紀²⁾、千葉ちよ¹⁾、吉野景子³⁾、山田愛梨⁴⁾、小黒草太⁵⁾、
佐藤寧子⁶⁾、菊池真大⁷⁾

- 1) 国立病院機構 東京医療センター 精神科
- 2) 国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室
- 3) 国立病院機構 東京医療センター 薬剤部
- 4) 国立病院機構 東京医療センター 栄養管理室
- 5) 国立病院機構 東京医療センター 放射線科
- 6) 国立病院機構 東京医療センター 看護部
- 7) 国立病院機構 東京医療センター 消化器内科

08-4 北アルプス医療センターあづみ病院におけるアルコール依存症入院患者の経過

中村敏範¹⁾、雨宮光太郎³⁾、篠山大明²⁾、高橋 徹¹⁾、村田志保³⁾、鷺塚伸介²⁾

- 1) 信州大学医学部附属病院 精神科
- 2) 信州大学医学部 精神医学教室
- 3) 北アルプス医療センターあづみ病院 精神科

08-5 神奈川県立精神医療センターにおけるアルコール家族会

藤城弘康、大曾根しのぶ、楠山さなみ、西岡恭子、井上恭子
神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談課